

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(30歳代女性)あります。症状は発熱・頭痛・全身の筋肉痛・白血球減少です。推定感染地域は国外(マレーシア)で、推定感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は2例となっています。
- ・ **マラリア**の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は発熱・悪寒・頭痛です。推定感染地域は国外(インド)で、推定感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は2例となっています。
- ・ **クロイツフェルト・ヤコブ病**の報告が1例(60歳代男性)あります。症状は進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路症状・小脳症状・痙性対麻痺・筋強剛で、推定感染地域、推定感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となっています。
- ・ **梅毒**の報告が6例(40歳代男性2例, 20歳代女性3例, 30歳代女性1例)(第29週・第30週追加報告分含む)あり、本市の累積報告数は42例となりました。
重症化及び感染拡大を防ぐためには、早期発見、早期治療が非常に重要です。
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

◆ 今週のトピックス: < RSウイルス感染症 >

- ・ 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.76(32例)となり、前週の0.24から大幅に増加し、全国でも前週1.05から今週1.56と増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 4例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 205例(肺結核 107例, その他結核 30例, 潜在性結核感染者 68例)うち喀痰塗抹陽性 55例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 四類:マラリア(病型不明) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 45例】
- ・ 五類:梅毒 6例【1月以降の累積報告数 42例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

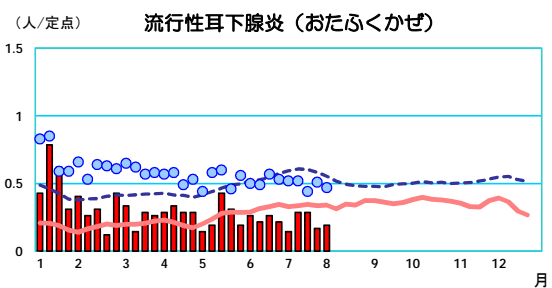
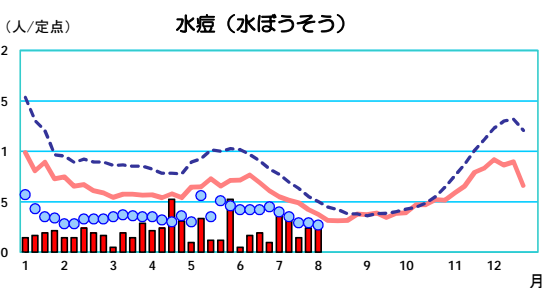
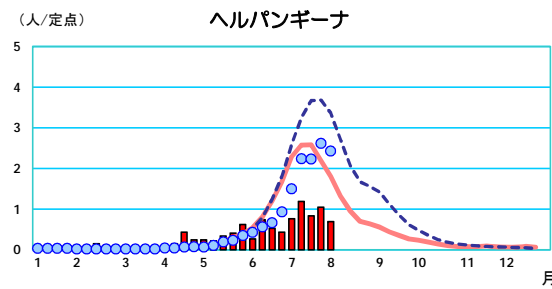
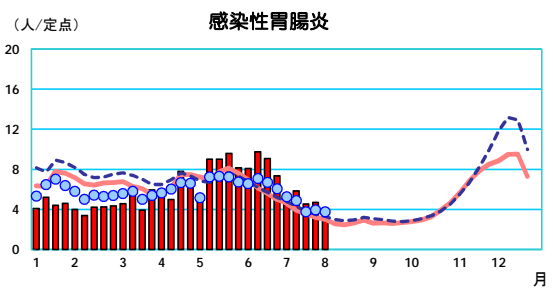
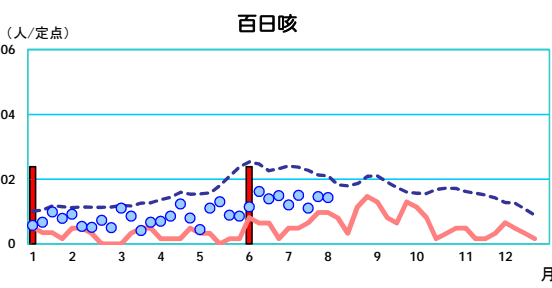
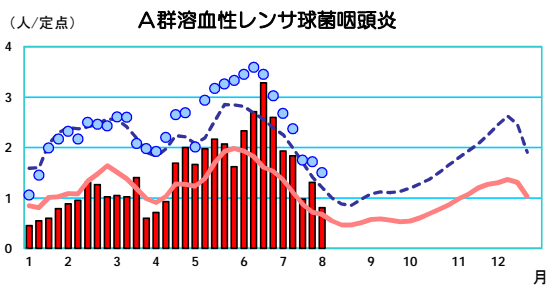
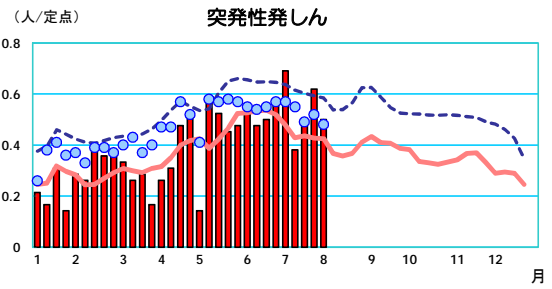
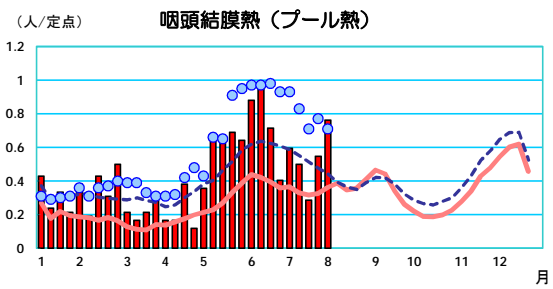
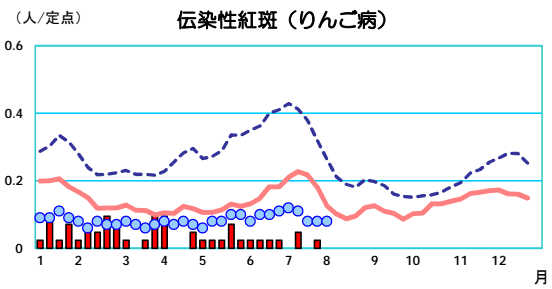
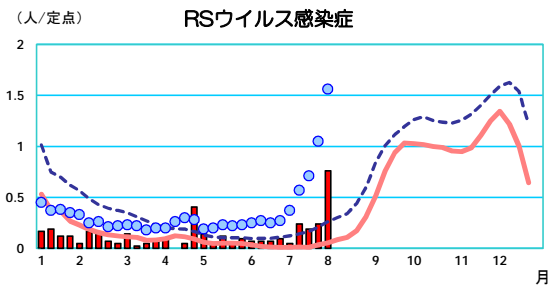
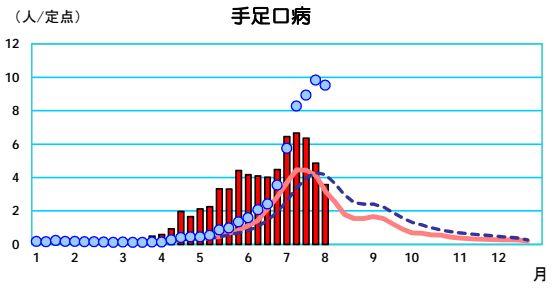
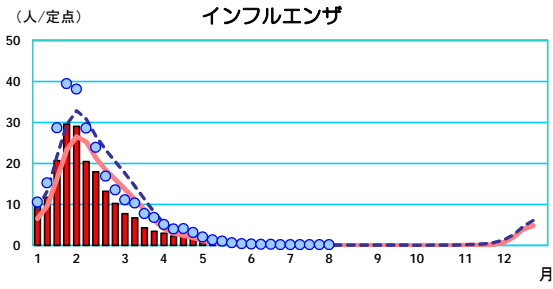
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.17	12
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.81	160
	② 手足口病	3.57	150
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	34
	④ RSウイルス感染症	0.76	32
	④ 咽頭結膜熱	0.76	32
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: < RSウイルス感染症 >
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年8月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第31週(7月31日～8月6日)トピックス: <RSウイルス感染症>

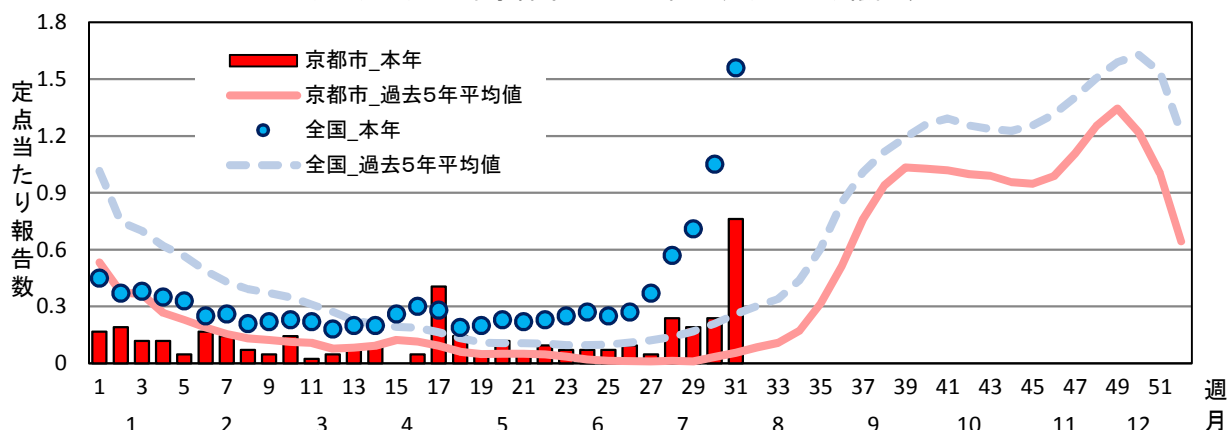
京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.76(32例)となり、前週の0.24から大幅に増加し、全国でも前週1.05から今週1.56と増加しています(図1)。また、都道府県別の定点当たり報告数を見ると、地域間の差は大きいものの45都道府県で前週から増加しました(図2)。

京都市の過去5年間を見ると、定点当たり報告数が今週の値0.76を超えたのは第37週～第45週でした(図3)。同様に全国で今週の値1.56を超えたのは第39週～第47週であり、平成25年はシーズンを通してこの値以下でした(図4)。このように京都市、全国共に患者数の増加が6～16週早い状況にあります。例年秋に入ると患者数が急増し、年末をピークに春まで流行が続くことが多いので、今後の流行期に向けて注意が必要です。

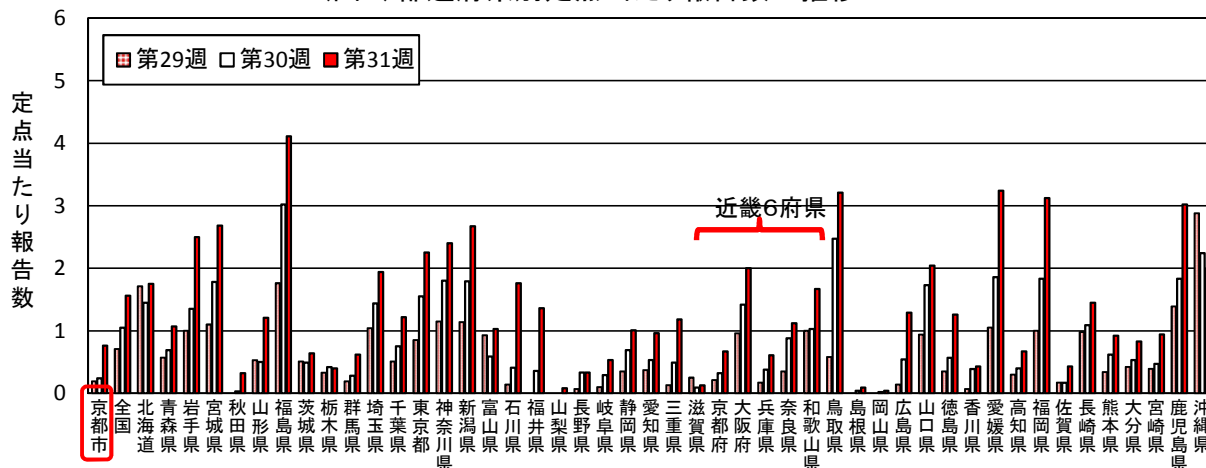
本感染症は、RSウイルスを病原体とし、乳幼児に多い呼吸器感染症です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、乳児で初めて感染した場合には重症化しやすく、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。

咳などの呼吸器症状のある人は可能な限り、乳幼児との接触を避けることが予防につながります。感染予防のためマスクの着用、子供が触れるおもちゃや手すりなどのこまめな消毒、流水・石鹸による手洗い及び手指消毒を励行しましょう。

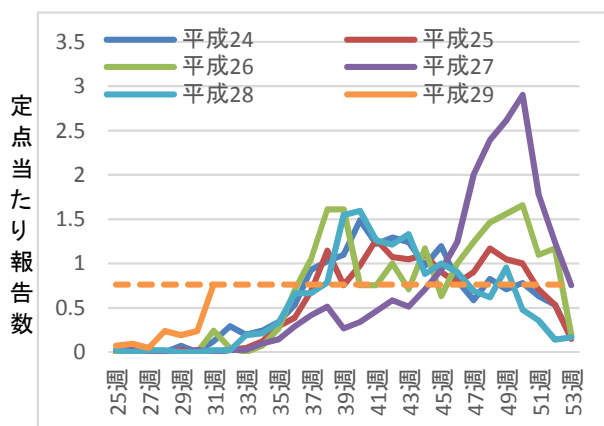
(図1)平成29年京都市および全国の定点当たり報告数



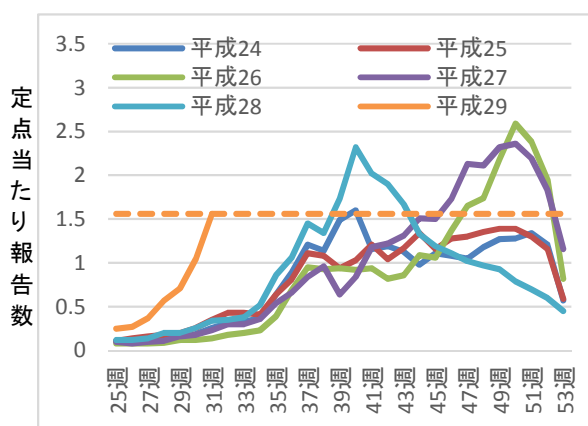
(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3)京都市の過去5年間の定点当たり報告数の推移 (第25週以降)



(図4)全国の過去5年間の定点当たり報告数の推移 (第25週以降)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第31週

疾病,行政区別報告数

平成29年7月31日～平成29年8月6日

データ入手日:平成29年8月9日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																			
北	-	1	1	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	2					
上京	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	5	1	4	35	-	16	-	2	-	2	1	-	-					
中京	-	3	1	1	3	-	11	-	1	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	1	-	8	-	3	-	-	-	1	-	-	-					
山科	-	8	1	3	4	2	13	-	3	-	6	-	-	-					
下京	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
南	7	-	-	2	10	2	8	-	1	-	4	1	-	-					
右京	3	9	24	14	34	2	32	-	4	-	4	3	-	1					
伏見	1	5	2	6	43	5	40	-	8	-	6	-	-	1					
西京	-	1	1	3	20	-	24	-	2	-	3	1	-	-					
京都市計	12	32	32	34	160	11	150	-	21	-	29	8	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																			
北	-	0.25	0.25	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	0.25	-	2.00					
上京	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	1.25	0.25	1.00	8.75	-	4.00	-	0.50	-	0.50	0.25	-	-					
中京	-	1.00	0.33	0.33	1.00	-	3.67	-	0.33	-	0.67	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	0.50	-	4.00	-	1.50	-	-	-	0.50	-	-	-					
山科	-	2.00	0.25	0.75	1.00	0.50	3.25	-	0.75	-	1.50	-	-	-					
下京	0.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-					
南	1.40	-	-	0.67	3.33	0.67	2.67	-	0.33	-	1.33	0.33	-	-					
右京	0.38	1.80	4.80	2.80	6.80	0.40	6.40	-	0.80	-	0.80	0.60	-	1.00					
伏見	0.09	0.71	0.29	0.86	6.14	0.71	5.71	-	1.14	-	0.86	-	-	0.50					
西京	-	0.20	0.20	0.60	4.00	-	4.80	-	0.40	-	0.60	0.20	-	-					
京都市計	0.17	0.76	0.76	0.81	3.81	0.26	3.57	-	0.50	-	0.69	0.19	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年7月31日～平成29年8月6日

データ入手日:平成29年8月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1	1	-	3	2	
RSウイルス感染症	年齢3	32	4	9	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		32	1	1	4	7	2	6	8	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	-	1	1	3	2	3	3	5	2	3	2	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		160	5	17	19	16	15	7	11	7	8	5	3	17	7	23	-	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	1	3	-	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		150	2	20	50	26	23	11	7	3	1	1	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		21	-	4	12	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		29	-	2	14	5	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		8	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.17	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.04	0.03	
RSウイルス感染症	年齢3	0.76	0.10	0.21	0.43	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.76	0.02	0.02	0.10	0.17	0.05	0.14	0.19	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	-	0.02	0.02	0.07	0.05	0.07	0.07	0.12	0.05	0.07	0.05	0.12	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.81	0.12	0.40	0.45	0.38	0.36	0.17	0.26	0.17	0.19	0.12	0.07	0.40	0.17	0.55	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.26	-	0.02	0.07	-	0.02	0.05	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3.57	0.05	0.48	1.19	0.62	0.55	0.26	0.17	0.07	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.50	-	0.10	0.29	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.69	-	0.05	0.33	0.12	0.07	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.19	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年8月9日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	1	1	7	5	12
RSウイルス感染症		4	2	10	8	10	32
咽頭結膜熱		17	25	21	12	23	32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		109	81	77	41	55	34
感染性胃腸炎		309	235	245	191	198	160
水痘		4	18	15	6	10	11
手足口病		188	271	280	267	204	150
伝染性紅斑		1	-	2	-	1	-
突発性発しん		24	29	16	20	26	21
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		18	32	50	35	44	29
流行性耳下腺炎		9	6	12	12	7	8
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	1	-
流行性角結膜炎		8	5	6	7	8	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		692	705	735	606	592	494

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.01	0.01	0.01	0.10	0.07	0.17
RSウイルス感染症		0.10	0.05	0.24	0.19	0.24	0.76
咽頭結膜熱		0.40	0.60	0.50	0.29	0.55	0.76
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.60	1.93	1.83	0.98	1.31	0.81
感染性胃腸炎		7.36	5.60	5.83	4.55	4.71	3.81
水痘		0.10	0.43	0.36	0.14	0.24	0.26
手足口病		4.48	6.45	6.67	6.36	4.86	3.57
伝染性紅斑		0.02	-	0.05	-	0.02	-
突発性発しん		0.57	0.69	0.38	0.48	0.62	0.50
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.43	0.76	1.19	0.83	1.05	0.69
流行性耳下腺炎		0.21	0.14	0.29	0.29	0.17	0.19
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	0.10	-
流行性角結膜炎		0.80	0.50	0.60	0.70	0.80	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		17.08	17.16	17.95	14.90	14.73	12.03

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。